



## コベルコ建機

- 2011年度は中国市場の低迷の影響が大きく、減益
- 2012年度は、中国市場が引き続き低調に推移するものの、東南アジアおよび日本の復興需要により引き続き堅調に推移すると想定

### 2011年度の概況

中国市場の低迷の一方で、東南アジアや日本国内の震災復興需要など堅調なマーケットもありました。その結果、2011年度のコベルコ建機グループ連結売上高は、2010年度並の3,071億円となり、経常利益は2010年度比、34億円減益の228億円となりました。

## Topics

### ■ 20トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK200H」の開発・販売開始について

2010年に販売を開始した8トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK80H」に引き続き、このほど20トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK200H」を開発し、2012年10月1日より販売開始します。標準仕様機「SK200-8」と比較して、16%の燃費低減を実現しました。なお、8トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK80H」においては、環境省が実施する「地球温暖化防止活動環境大臣表彰（技術開発・製品化部門）」を2010年に受賞しています。



20トン級ハイブリッド油圧ショベル「SK200H」(2012年10月発売予定)

### ■ 広島グローバル・エンジニアリング・センターおよび五日市工場の稼働開始について

広島市五日市地区の敷地に、グループ全体の生産および開発の最適化を担ったグローバル・エンジニアリング・センターを設立するとともに、油圧ショベルを生産する世界最高水準の生産性を目指した五日市工場を建設し、ともに5月より稼働を開始しました。コベルコ建機では、リーマンショック後から地道に積み上げてきた生産性改善活動により、旧祇園工場で生産性3割向上を成し遂げてきました。五日市の新工場では、さらに生産性を3割向上させ、リーマンショック以前の生産体制に比較し、5割の向上を計画しています。世界各地での生産拠点の整備に目処をつけ、いよいよ日本国内でグローバルに競争力のある生産拠点を完成させました。今後、「技術開発力」と「ものづくり力」をさらに強化させ、グループ全体でのサプライチェーンやマネジメント体制のグローバル対応強化を図っていきます。



グローバル・エンジニアリング・センターおよび五日市工場